

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募結果

核融合科学研究所 学際的核融合科学分野 教授／准教授／助教

- 掲載号：2023年12月（第116巻12号）
- 結果（前所属）：後藤基志（核融合科学研究所）、佐藤雅彦（核融合科学研究所）、小林真（核融合科学研究所）、尾花哲浩（核融合科学研究所）、木村直樹（東京理科大学）、鋤持尚輝（核融合科学研究所）、WANG Jialei（核融合科学研究所）
- 着任時期：2024年7月1日，2024年7月1日，2024年7月1日，2024年7月1日，2024年7月1日，2024年7月1日，2024年7月1日，2024年7月1日

人事公募

東京都立大学理学研究科物理学専攻 准教授

- 募集人員（ポスト・人数など）：准教授 1名
- （1）所属部門・所属講座：
（学部）理学部 物理学科
（大学院）理学研究科 物理学専攻
（2）勤務地：南大沢キャンパス（〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1）
- 専門分野：宇宙論・重力理論
- 職務内容・担当科目：量子力学や相対論等の講義科目を担当し、学部4年生および大学院生の研究指導を行う。宇宙の成り立ちや進化および重力に関する理論的研究を推進する。本学物理学専攻の教員と協力し、大学の組織運営を行う。
- （1）着任時期：2025年4月1日
（2）任期：任期なし
※ただし、65歳となった年度の末日をもって退職となります。
- 応募資格：応募時点で博士号の学位を取得しており、大学院博士後期課程の教育及び研究指導を担

当でできる方

- 提出書類：電子メール（アドレスは以下提出先参照）により受け付けます。
詳しくは「10. 応募上の注意」のリンク先参照のこと
- 応募締切：2024年9月24日（火）
- （1）提出先：
E-Mail kyoinkobo-rigaku@jmj.tmu.ac.jp
（2）問合せ先：
*公募全般に関すること
東京都立大学法人 総務部人事課人事制度係
TEL 042-677-1111（内）1027
E-Mail kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp
*専門分野に関すること
東京都立大学理学研究科 物理学専攻長
田沼肇
TEL 042-677-2506（直通）
E-Mail info-apcm@phys.se.tmu.ac.jp
- 応募上の注意
次のリンク先の募集要項を必ず参照のこと。
https://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu/
- その他（待遇など）
試用期間あり（採用の日から6月）

東京大学宇宙線研究所 教授

- 職種及び公募人員：教授 1名
- 職務内容（専門分野）等：本研究所の高エネルギー宇宙線研究部門に所属し、超高エネルギーガンマ線および超高エネルギー宇宙線の観測的研究をリーダーシップをもって推進していただける方を求めます。本研究所で進めているチベットASy実験の空気シャワー観測装置および南半球における空気シャワー観測装置の拡張（アルパカ計画）の維持・運用・建設、観測的研究において中核的な役割を担っていただきます。また高エネルギー宇宙線研究部門の将来計画の策定にあたっても中心的な役割を担うことを期待します。
※変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがあります。（意に反して命じられることは原則

ございません。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条によります。)

3. 勤務地：宇宙線研究所（千葉県柏市柏の葉5-1-5）
※変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ございません。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条によります。)

4. 着任時期：決定後，なるべく早い時期
5. 応募資格：博士号を持つこと
6. 任期：なし
7. 待遇：給与は本学の規定に基づき経歴等により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入します。

8. 就業時間：専門業務型裁量労働制により，1日あたり7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。

9. 休日：土・日，祝日，年末年始（12月29日～1月3日）

10. 休暇：年次有給休暇，特別休暇 等

11. 提出書類等：以下（1）から（6）までの書類を，Eメールに添付（電子ファイル）で提出してください。応募書類のファイル形式はpdfとします。（Eメールによる提出に対しては，受信した旨の返信をしますので，必ず当方からの返信の有無を確認してください。）

- （1）履歴書
- （2）研究歴（A4判で3頁以内）
- （3）着任後の研究計画（A4判で3頁以内）
- （4）業績リスト（論文リスト，研究発表リスト，外部資金獲得状況等）及び主要論文別刷（5編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け，一目でわかるようにすること。
- （5）着任可能時期
- （6）学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰，行政処分及び懲戒処分にかかる申告書

※（6）については，以下URLから様式をダウンロードください。

<https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAnP9ERAtI0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>

12. 応募締切：2024年9月6日（金）12時必着
13. 選考：選考は，書類選考の後，面接を受けていただくことを原則とします。（面接を受けていただく方には詳細を連絡します。）
14. その他：

- （1）「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき，女性の応募を歓迎します。

- （2）外為法等の定めにより，採用時点で，海外との兼業や，外国政府等からの多額の収入がある場合，研究上の技術の共有が制限され，本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから，このような場合，兼業等については，本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。

- （3）試用期間あり（6月間）

- （4）受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

15. 送付先：

Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
（メールを送信する際は_at_を@に直してください）
件名に公募番号の「ICRR2024-02」を明記してください。

16. 問い合わせ先：高エネルギー宇宙線研究部門

主任 窪秀利
電話 0471-36-3136
Eメール kubo_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
（メールを送信する際は_at_を@に直してください）

17. 募集者名称：国立大学法人東京大学

東京大学宇宙線研究所 教授

1. 職種及び公募人員：教授 1名
2. 職務内容（専門分野）等：本研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設に所属し，同施設が推進するハイパーカミオカンデによる宇宙・素粒子研究の中核的役割を担える方を求めます。また主導的に短期・長期的な施設の管理・運営を行っていただきます。

※変更の範囲：配置換，兼務及び出向を命じることがあります。（意に反して命じられることは原則ございません。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条によります。）

3. 勤務地：宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設（岐阜県飛騨市神岡町）

※変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ございません。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条によります。）

4. 着任時期：決定後，なるべく早い時期
5. 応募資格：博士号を持つこと
6. 任期：なし
7. 待遇：給与は本学の規定に基づき経歴等により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入します。

8. 就業時間：専門業務型裁量労働制により、1日あたり7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。
 9. 休日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
 10. 休暇：年次有給休暇、特別休暇 等
 11. 提出書類等：以下（1）から（6）までの書類を、Eメールに添付（電子ファイル）で提出してください。応募書類のファイル形式はpdfとします。（Eメールによる提出に対しては、受信した旨の返信をしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。）
 - （1）履歴書
 - （2）研究歴（A4判で3頁程度）
 - （3）着任後の研究計画（A4判で3頁程度）
 - （4）業績リスト（論文リスト、研究発表リスト、外部資金獲得状況等）及び主要論文別刷（5編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。
 - （5）着任可能時期
 - （6）学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分にかかる申告書
- ※（6）については、以下URLから様式をダウンロードください。
- <https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAnP9ERAtI0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>
12. 応募締切：2024年9月9日（月）12時必着
 13. 選考：選考は、書類選考の後、面接を受けていただくことを原則とします。（面接を受けていただく方には詳細を連絡します。）
 14. その他：
 - （1）「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。
 - （2）外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
 - （3）試用期間あり（6月間）
 - （4）受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
 15. 送付先：Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp（メールを送信する際は_at_を@に直してください）

件名に公募番号の「ICRR2024-03」を明記してください。

16. 問い合わせ先：神岡宇宙素粒子研究施設長
塩澤真人
Eメール masato_at_km.icrr.u-tokyo.ac.jp
（メールを送信する際は_at_を@に直してください）
17. 募集者名称：国立大学法人東京大学

JAMSTEC Young Research Fellow 2025

JAMSTEC Young Research Fellow 2025公募を開始いたしました。

自然科学・工学分野の博士号をもつ優れた若手研究者が、その研究課題をより卓越した業績へと発展とさせることを目的に、博士号取得5年以内の若手研究者を雇用し、JAMSTECの研究環境を活用して本人の研究資質等を向上させる制度です。

1. 募集人員：約5名
2. 勤務地：国立研究開発法人海洋研究開発機構
以下の研究拠点のいずれか
 - ・横須賀本部 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
 - ・横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25
 - ・むつ研究所 青森県むつ市大字関根字北関根690番地
 - ・高知コア研究所 高知県南国市物部乙200（高知大学物部キャンパス内）
3. 専門分野：自然科学・工学全般
4. 応募締切：2024年8月26日
5. 問合せ先：国立研究開発法人海洋研究開発機構
人事部人事任用課 採用担当
jyrf2025@jamstec.go.jp
詳細は募集要項をご確認ください。
※本公募の募集要項は英文のみとなります。
https://www.jamstec.go.jp/e/work_with_us/jobs/details/jyrf20240826/

研究会・集会

第44回 古川為三郎サイエンス講演会のご案内

名古屋市科学館で開催される第44回古川為三郎サイエンス講演会について、以下の通りお知らせします。

「宇宙物質循環，その“最初”で最後の謎」

半田 利弘（はんだ としひろ）氏

日本天文学会正会員 理学博士

工学院大学 非常勤講師

前 鹿児島大学天の川銀河研究センター 教授

夜空を見ると宇宙は不変とを感じるが，人類では数世代以上に及ぶ長期間では，星も大きく姿を変えるばかりでなく，できたり壊れたりすることが20世紀後半になってわかってきました．その影の主役は星雲に代表される星間物質です．宇宙の物質は星や星間物質に姿を変え循環しています．本講演では星のエネルギー源の究明に端を発した現代の宇宙像を概観した後，1970年代以降に大きく進んだ，星間物質から星ができる過程に対する理解を紹介するとともに，未だに研究の途上にある，その初期段階について最新データを交えてお話しして頂きます．

日 時：2024年10月12日(土) 14時30分～16時00分
(14時開場)

場 所：名古屋市科学館 サイエンスホール

対 象：どなたでも

定 員：200名（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料（高校生以上の入館は所定の観覧料が必要）

申し込み：インターネットによる電子申請
詳しくは，名古屋市科学館のホームページ
<http://www.ncsm.city.nagoya.jp>
の「イベント」枠内にある「第44回 古川為
三郎サイエンス講演会」をご覧ください．

申し込み締め切り：9月28日(土)

お問い合わせ

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17-1

名古屋市科学館 学芸課（天文）河野，野田

電話：052-201-4486（代）

受付時間：9:00-17:30 *休館日を除く

賞の推薦

2024年度宇宙科学奨励賞公募のご案内

公益財団法人宇宙科学振興会では，宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ，将来の宇宙科学の発展に大きな役割を果たすことが期待される若い研究者を顕彰し，宇宙科学奨励賞を授与いたします．ここに2024年度の第17回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集

いたします．推薦要綱の詳細は当財団のホームページ（<http://www.spss.or.jp>）に掲示しておりますが，当奨励賞の概要は以下の通りです．皆様の周りで優れた業績を挙げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存知の際には，是非ともご推薦いただきますようお願い申し上げます．

表彰の趣旨：宇宙理学（飛翔体を用いた観測，探査，実験に関連する理学研究）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い，宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績をあげた若手研究者個人を顕彰する．この賞が対象とする分野には，地球観測や宇宙環境を利用した理学研究・工学研究も含まれる．

授与機関：公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者：上記分野で優れた業績をあげた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人．候補者の推薦は他薦に限る．

業績の審査：業績の審査は，推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて，当財団が設置する選考委員会において行う．

賞の内容：授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名，宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）．受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる．

推薦締切日：2024年10月31日(木) 必着．

表彰式：選考結果は2025年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに，当財団ホームページにおいて発表する．その後2025年3月初旬に表彰式を行い，受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をして頂く．なお，推薦の手続きの詳細については財団のホームページ（<http://www.spss.or.jp>）をご覧ください，推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上，(1) 候補者の略歴，(2) 業績全般を示す論文のリスト，および(3) 推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上，電子メールにてご提出下さい．

お問い合わせ先および推薦書送付先：

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

公益財団法人宇宙科学振興会 事務局

E-mail: admin@spss.or.jp

Tel: 042-751-1126（火，木）

公益財団法人天文学振興財団

令和6年度天文学業績表彰応募

当財団は，社会における天文学の振興に寄与するため，天文学に関連する分野での顕著な業績に対して表彰をいたします．

令和6年8月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 古在由秀賞

(1) 選考基準 (以下のいずれかに該当する者)

- (1) 広い意味で理論天文研究において顕著な業績をあげた研究者
- (2) 天文学の広報普及に貢献した者 (アマチュアも含む)
- (3) 広い意味で重力波天文学の貢献に顕著な業績をあげた研究者
- (4) 国際的に天文学の推進 (特にアジアの天文学) に貢献した者
- (5) 天文学の推進に関して管理運営等において優れた業績をあげた者

(2) 対 象

- ・当該年度当初において45歳以下であること (個人または研究グループの代表者)。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

[2] 吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞

(1) 選考基準 以下のいずれかに該当する者

- ・新たな天体観測手法の研究・開発で顕著な業績をあげた者
- ・天体観測技術の研究または開発分野で顕著な業績を挙げた者
- ・新たな天体観測手法・装置の研究・開発を通じて産業界の発展に顕著な寄与をなした者

(2) 対 象

- ・当該年度当初において50歳以下であること (個人またはグループの代表者)。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

2. 応募期限: 両賞とも令和6年10月末日

3. 選考結果: 両賞とも選考委員会が審査の上、結果について令和7年1月下旬に文書で通知します。

4. 申請方法: 天文学振興財団ホームページ上にWordファイルとPDFファイルを掲載します。応募書類は、一つのPDFファイルにまとめて電子メールに添付し、応募期限までに以下のメールアドレス宛にお送りください。

shinsei@fpastron.jp

天文学振興財団より受理確認メールを返信いたします。

5. 問合せ先: 公益財団法人天文学振興財団 事務局
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

Tel: 0422-34-8801

Fax: 0422-34-4053

<http://www.fpastron.jp/>**2024年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い**

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2024年11月5日(火)(必着)です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、林忠四郎賞については春季年会時、欧文研究報告論文賞については秋季年会時の会員全体集会にて行う予定です。林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。その場合、優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2024年度(第29回)林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。なお、本賞は、他薦のみとなっています。

対象: 広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む)における独創的でかつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格: 本年度当初においてすでに本会正会員である者(個人または少人数の研究グループ)。

授賞件数: 原則として1件。

賞状等: 本賞として賞状、副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)を授与する。

推薦書の形式: 表題は「2024年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者、連名授賞可)について: 氏名

- (ふりがな), 生年月日, 大学卒業年, 現職および連絡先(電話, FAX, e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も併記)
 - 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先(電話, FAX, e-mail), 被推薦者との関係
 - 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
 - 5) 推薦理由
 - 6) 関連する論文のリスト
 - 7) 添付資料として, 推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

2024年度(第29回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は, 日本天文学会欧文研究報告(Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ))に出版された優れた論文を称賛し, 今後も優れた論文が投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は, 林忠四郎賞選考委員会が兼ねています。

この度, 内規改定により, 本賞は論文を対象とした賞であることが明確化されました。よって, これまでの「被推薦者との関係」の記載は不要となり, 論文の著者(共著者を含む)からの推薦も可能です。

対象論文: 原則として2019年12月から本賞締め切りまでに発行されたPASJに掲載された論文の中で, 独創的で天文学分野に寄与の大きい, 特に優れた論文をその対象とする。

授賞件数等: 原則として2件以内。受賞論文の著者(共著の場合は, すべての共著者)に賞状を授与するとともに, 受賞記念講演日より3年以内に投稿された論文一編について, その本文掲載料を無料にするともに, フリーアクセスにて公開する。

推薦書の形式: 表題は「2024年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズ of 用紙(e-mailでも可)に, 次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について: 論文題目, 筆頭著者名, 出版された巻, ページ, 発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先(電話, Fax, e-mail)
- 4) e-mailで推薦する場合はjimu(a)asj.or.jp宛に送信して, 受領メールを必ず確認してください。

2024年度(第36回)研究奨励賞候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は, 優れた研究成果を上げている若手天文学者

に対して, 日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で, 最近おおよそ5年間(※以下参照)における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日(2024年4月1日)にすでに正会員であってかつ博士学位取得後8年以内の者。ただし, 産休・育休等やむを得ない事情により天文分野での活動に空白期間があれば, その年月は考慮する。です。毎年3名以内を対象とし, 賞状, 賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦(自薦も可)をお待ちしております。近年は女性候補者の推薦が少なくなっております。女性候補者の積極的な推薦をお願いします。選考委員会では推薦された方の中から, 研究奨励賞内規に基づき選考を行い, 候補者を代議員総会に推薦します。受賞候補者の推薦要領は以下の通りです。

- (1) 締切: 2024年11月5日(火) 必着
- (2) 提出書類: ○候補者氏名, 会員番号, 現職, 博士学位取得年月日(産休・育休等やむを得ない事情により天文分野での活動に空白があることを考慮する場合にはその期間を記載してください), ○授賞対象とする研究の表題(英語表記も), ○推薦者の氏名, 現職, 連絡先(自薦の場合には候補者について聞くことのできる方を記載してください), ○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2~3枚程度の本文, ※最近おおよそ5年間の業績を基本とし, それを遡る数年間にも主業績に至る一連の萌芽的研究があれば積極的に記載して下さい), ○関連論文リスト, ○推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)
- (3) 提出先: 下記webサイトへのPDFファイルアップロード
webサイト: <https://www.asj.or.jp/jp/activities/prize/shorei/> を通じてPDFファイルをアップロードしていただきます。提出書類を一つのPDFにまとめ, ファイル名を「2024kenkyushorei_full_name」として頂き, webサイトから必要事項をご記入の上でアップロードして下さい。“full_name”は候補者の氏名です。

2024年度(第24回)天文功労賞 候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は, 研究機関外での天文活動, 例えば長年に亘る天体観測や, 突発的な現象の検出・通報などを, 称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績

は、天体発見賞・天体発見功労賞の枠に取まらない天文観測・研究活動です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者（団体）とします。日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者（団体）を代議員総会に推薦します。

この天文功労賞につきまして、日本天文学会の会員の方々からの候補者（団体）の推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、功績題目（1行程度）、功績の説明を書き添えて、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内、Fax: 0422-31-5487, e-mail: jimmu@asj.or.jp）までお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2024年11月15日（金）までにお送りください。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。なお、推薦された候補について、2024年度に受賞対象とならなかった場合でも、当選考委員会において候補リストに登録し、翌年度以降の選考対象とします。このため、同一の推薦を翌年度以降に重ねて行う必要はありません。ただし、推薦内容に変更がある場合は、再度の提出をお願い致します。

2024年度（第7回）天文教育普及賞候補者推薦のお願い

天文教育普及賞選考委員会

日本天文学会天文教育普及賞は、天文教育や普及活動の分野で特に顕著な貢献をされた個人や団体を顕彰し奨励して、教育普及活動のさらなる発展を期するものです。対象者は、日本国内・国外またはその両方で活動を行った日本在住者や日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体、及び、日本国内で行われた教育普及活動を実施した外国の個人または団体です。教育普及活動が本務の場合も、本来の業務を大きく超え、社会に強い影響を与え、多大な貢献をした場合は対象となります。また、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は天文教育普及賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

つきましては、日本天文学会正会員・準会員の方々から、候補者（団体）の推薦を広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、活動名（1行程度）、活動内容の説明を記載し、必要に応じて補足資料（A4紙5枚程度まで）を添付のうえ、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内／Fax: 0422-31-5487／jimu@asj.or.jp）にお送りく

ださい。フォーマットの指定は特にありません。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

なお、連名で推薦される場合は全員が会員である必要はありません。推薦は随時受け付けておりますが、第7回の選考に確実に間に合わせるには、2024年9月30日（月）までにお送りいただくようお願いいたします。なお昨年度推薦いただいた候補者に関しては再推薦の必要はありません。

なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

会務案内

欧文研究報告（PASJ）に関するお知らせ

（1）Alt Text（代替テキスト）の追加

2024年8月以降、投稿論文（新規・改訂稿）に含まれる図のキャプションの最後には必ず「Alt Text」用の文章を加えて頂くことになりました。

「Alt Text」とは、例えば視覚障がいのある人がスクリーンリーダーにより容易に図の内容を理解できるなど、視覚的に得られる情報を簡潔に説明する短い文章です。出版委託先のOUP社では欧州アクセシビリティ法に準拠するため、2025年以降に同社が刊行する論文（電子版）の図には「Alt Text」が必須となります。

「Alt Text」の作成要領など詳しくはホームページに掲載の案内をご覧ください。

（2）LaTeX クラスファイルの更新

76巻（2024）からの新しい紙面デザインに対応したものに更新しました（pasj02.cls）。

新たに投稿論文を執筆される際には最新版のクラスファイルをお使いくださいますようお願いいたします。執筆にあたっては、配布用zipファイルに含まれるテンプレートと使い方のファイルをご覧ください。

なお、これらを含めた投稿の手引き全般に関しては、下記ページをご覧ください。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/pasj/submit/>

欧文研究報告編集部

編集委員より

天文月報表紙デザイン案大募集！

天文月報では、次の一年間の表紙デザインを常時募

集しております。毎年8月31日に締め切り、一年間で集まった作品を対象に、翌年の表紙デザインを選考します。詳しくは下記募集要項をご確認ください。応募はプロ・アマチュア、会員・非会員問わずどなたでも受け付けておりますので、多くの方からの応募をお待ちしております。

〈募集概要〉

- ・採用作品掲載期間は毎年1号（12/20発行）～12号（11/20発行）の12ヶ月（12回分）です。
- ・表紙は題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー画像（毎月変更）および背景イラストで構成されます。すべての配置を含めたデザインをお願いいたします。
- ・毎号違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は過去の天文月報をご覧ください。

天文月報のホームページのバックナンバー

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber>

■募集要項・天文月報投稿用アップローダーに、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

- ・カラー：CMYK
- ・ファイル形式：不問
- ・雑誌のサイズ：B5判タテ（182ミリ×257ミリ）
- ・締切り：2024年8月31日
- ・送り先：天文月報編集委員会天文月報投稿用アップローダー

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/

ユーザー名：geppou パスワード：toukou

■応募規定

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限ります。
- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
- ・採用された場合、納品された表紙の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、表紙に使用したオリジナル原画の著作権（著作権法21条から26条の3に規定する権利。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する際は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。
- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報は、本要項による採用作品の通知のためのみに使用します。
- ・採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。（24万円/1年分（税込み））

※8月号のお知らせに「12万円/1年分」と誤って記載されました。正しくは24万円/1年分です。

- ・問い合わせ先
問い合わせフォーム：<https://www.asj.or.jp/jp/contact/>
eメール：geppou@asj.or.jp

天文月報オンラインのユーザ名とパスワード

ユーザ名：asj2024

パスワード：雑誌コード（5桁の数字）とvol117（6文字）の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員：津村耕司（委員長）、岩崎一成、小野寺仁人、勝田哲、川中宣太、西澤淳、仏坂健太、岡本文典、

日下部展彦、小山翔子、志達めぐみ、鈴木大介、島海森、信川久美子、橋本拓也、宮本祐介

令和6年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487

振込口座：郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店（普）4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2024年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）